

教授 本多 一郎 / 植物代謝工学研究室

主な研究内容と目指す将来像

世界人口はますます増加し、気候変動も激しくなっています。植物は人類の食糧を担う重要な資源です。科学の発展により、植物についても多くのことがわかってきましたが、まだまだ不明な点が多くあります。植物の生産性向上をめざし、その生長を制御する植物ホルモンの機能解明研究を実施しています。

研究キーワード

植物ホルモン／植物代謝工学／有機化学／遺伝子解析

研究の魅力・面白さ

- ✓有機化学、分析化学、遺伝子工学の技術が学べる。
- ✓身近な植物を栽培し、研究に使用することで、植物のプロになれる。
- ✓未知の問題を解き明かすことができる。
- ✓学会で発表したり、英語で論文を発表したりすることができるかも。



栽培中の植物(オオムギ)



高精度分析機器(GC-MS)

履修しておきたい推奨科目

バイオ統計(2年前期)、有機化学Ⅱ(2年後期)、分析化学(2年後期)、機器分析(3年前期)、生物有機化学(3年前期)

研究室配属希望者へのメッセージ

研究を通じて生物と化学の両方の知識と技術が得られます。

特に、植物科学分野に関する専門的な知識、技術を得ることができます。

これからは生物の時代です。この分野の技術発展は日進月歩で、我々の技術は、世の中にますます必要になってくると思います。歓迎します!

連絡先

ihonda@maebashi-it.ac.jp